

○ ゴシュユ (呉茱萸)



語源

ゴシュユ属 *Euodia* は、ギリシャ語で エウオーディア「芳香、良い香り」から。これは、エウ「良い」という意味の接頭辞+オゾー「香る、匂う」からなる。種小名 *ruticarpa* は、ラテン語の *Ruta* ルータ「ヘンルーダ」(※) + *carpus* カルプス「果実」で、「ヘンルーダに似た果実の」の意。

(※)ヘンルーダ: *Ruta graveolens* 南ヨーロッパ原産のミカン科多年草。

また、呉茱萸は茱萸だけでもゴシュユを意味する。呉が頭に付いているのは、中国の呉の地のものが品質が良いとされたため。

和名 ゴシュユは 漢字を音読みしたもの。

基原

Euodia ruti-carpa Hooker filius et Thomson
(= *Evodia rutaecarpa* Bentham)

ゴシュユ 別名ニセゴシュユ

Euodia officinalis Dode (= *Evodia officinalis*)

ホンゴシュユ

Euodia bodinieri Dode (= *Evodia bodinieri* Dode)

ミカン科 落葉低木

ゴシュユは雌雄異株であるが、享保年間に中国より雌株のみが日本に渡来した。日本には雌株のみが少数植栽されている。



薬用部分

未成熟の果実

新鮮な果実は服用すると嘔吐を起こすことがあり、1年以上を経過したものを用いる。

産地

中国(貴州、湖南、広西、雲南、四川、陝西、浙江など)

貴州、広西産のものが産量が多く品質も良好で中国各地に出荷され、国外にも輸出されている。

主な成分

アルカロイド: エボジアミン、ルテカルピン、レチニンなど

トリテルペノイド: リモニン

主な薬効

健胃、利尿、鎮痛

代表的処方

主として漢方処方用薬であり、冷え症用薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。

【温経湯】

ウンケイトウ

体力中等度以下で、手足がほてり、唇がかわくものの次の諸症: 月経不順、月経困難、こしけ(おりもの)、更年期障害、不眠、神経症、湿疹・皮膚炎、足腰の冷え、しもやけ、手あれ(手の湿疹・皮膚炎)

(処方内容) 半夏/麦門冬/当帰/川芎/芍薬/人参/桂皮/阿膠/牡丹皮/甘草/生姜/呉茱萸

【当帰四逆加呉茱萸生姜湯】

トウキシギャクカゴシュユショウキョウトウ

体力中等度以下で、手足の冷えを感じ、下肢の冷えが強く、下肢又は下腹部が痛くなりやすいものの次の諸症: 冷え症、しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛、下痢、月経痛

(処方内容) 当帰/桂皮/芍薬/木通/細辛/甘草/大棗/呉茱萸/生姜

【呉茱萸湯】

ゴシュユトウ

体力中等度以下で、手足が冷えて肩がこり、ときにみぞおちが膨満するものの次の諸症: 頭痛、頭痛に伴うはきけ・嘔吐、しゃっくり

(処方内容) 呉茱萸/大棗/人参/生姜

※参考文献: 「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「家庭の民間薬・漢方薬」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp